

平成31年2月12日  
記者発表

## 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表について

近年、大雨や短時間強雨の発生頻度が増加し、全国各地で毎年のように甚大な洪水被害が発生しています。

このような中、従来は河川整備において基本となる降雨を前提として作成・公表してきた洪水浸水想定区域図について、平成27年5月の水防法改正に伴い、「想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図」（以下「想定最大浸想図」という。）を新たに作成することとなりました。

今回、和歌山県が管理する洪水予報河川と水位周知河川を合わせた20河川のうち、下記の7河川について、想定最大浸想図を作成しましたので公表します。

今後は、関係市町に対して想定最大浸想図に基づく洪水ハザードマップの早期作成を働きかけてまいります。

また、残る13河川についても、来年度の公表を目指して引き続き想定最大浸想図の作成を進めてまいります。

### 記

1. 対象河川：わたがわ 和田川、かめがわ 亀の川、ひかたがわ 日方川、かもがわ 加茂川、ありだがわ 有田川、ひだりあいづがわ 左会津川、くまのがわ 熊野川（ほんぐう 本宮区間、ひたり 日足区間）
2. 公表内容：想定最大規模降雨を前提とした浸水区域、浸水深、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域
3. 閲覧場所：県土整備部 河川・下水道局 河川課  
各振興局建設部 ※当該建設部管内に所在する河川のみ
4. ホームページ：<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/080400/soutei/soutei.html>

問い合わせ先	
担当課	河川課
担当者	岸岡、澳
電話	073-441-3074

～参考～

公表内容

	従前	今回公表
浸水区域、浸水深	計画規模相当の降雨	想定最大規模の降雨
浸水継続時間	規定なし	想定最大規模降雨による洪水時に、避難が困難となる浸水深（50cm以上）が継続する時間
家屋倒壊等氾濫想定区域 （氾濫流、河岸侵食）	規定なし	想定最大規模降雨による洪水時に、家屋の流出、倒壊をもたらすような氾濫流や河岸侵食が発生するおそれがある区域

用語の説明

洪水浸水想定区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>水防法第14条に基づき、洪水予報河川及び水位周知河川について、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水災による被害の軽減を図るため、当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域として河川管理者が指定する。</li> </ul>
洪水予報河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>水防法第11条第1項に基づき、流域面積が大きく、洪水により相当な損害を生ずるおそれがあるものとして指定した河川。</li> <li>気象庁長官と共同して、洪水のおそれのある状況を基準地点の水位又は流量を示して洪水の予報を行う。</li> </ul>
水位周知河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>水防法第13条第2項に基づき、洪水予報河川以外の河川のうち、洪水により相当な損害が生ずるおそれがあるものとして指定した河川。</li> </ul>
想定最大規模降雨	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を降雨の特性が似ている15の地域に分け、それぞれの地域において観測された最大の降雨量により設定することを基本とする。</li> </ul>

来年度、想定最大浸想図を公表する予定の河川

対象河川 （13河川）	はしもとがわ ひろがわ やまだがわ ひだかがわ いなみがわ きりめがわ みなべがわ とんだがわ 橋本川、広川、山田川、日高川、印南川、切目川、南部川、富田川、 ひきがわ すきみがわ こしがわ おおたがわ なちがわ 日置川、周参見川、古座川、太田川、那智川
----------------	--







